

FreeBSDのportsnap&subversionを使って/usr/ports&/usr/src更新

2017/04/02

FreeBSD-STABLEは安定版じゃない☐FreeBSD-CURRENTで試験ずみでこれよりは落ち着いている、リリース前の開発ブランチなのです。当然Currentで出なかった不具合もあったりする。

2013/04/10

/base/stable を使って痛い目にあったので、記事を/base/releng に変更しておく。

2013/02/11

Ports CollectionのCVSUPによる提供が2013年2月末で終了するので、更新方法のメモ。 ついでなので☐/usr/srcをsubversionで更新するように変更もする。

この説明は FreeBSD/AMD64 9.1 RELEASE で実施。

portsnap&subversionへの変更

Ports Collectionの変更については☐FreeBSDハンドブック [Ports Collection の利用](#) にある通りcvsup(csup)からPortsnapによる更新へ変更したほうがよいと思う。ソース(/usr/src)はまだcvsupでいけるとは思うのだけど、基本subversionに移行しているので[Subversion を使う](#)にあわせて対応してしまおう。

手続き的にはこっちを使うとFWの内側でポートを開けてもらわなくても80番で利用できるし、うるさい部署にお伺いを立てなくてもよくなるのは精神衛生上とっても重要。

portsnapへの変更

たぶんデフォルトで程よい設定があるのでそのままコマンドを使えるかと☐/etc/portsnap.confが定義ファイルになり、デフォルトでは

```
SERVERNAME=portsnap.FreeBSD.org
```

とあり、ここが取得先サーバになる。

portsnapのサブコマンドは3つあり、

- fetch - WORKDIR(デフォルトだと/var/db/portsnap)にPorts Collection のスナップショットを取り込み。
- extract - PORTSDIR(デフォルトだと/usr/ports)にスナップショットを展開
- update - WORKDIRとPORTSDIRの変更差分を適用

となる☐extractは初回のみ実行することになるので、初回だけ以下を実行になるかと。

```
$ rm -fR /usr/ports/*☐←クリーンにしたいならどうぞ
$ portsnap fetch
$ portsnap extract
```

```
$ portsnap update
```

2回目以降は、

```
$ portsnap fetch
$ portsnap update
```

でお〇〇fetchでエラーが出た場合〇〇WORKDIR内を消して(WORKDIR自体は消さない)やり直してみる。

また〇〇cronでfetchするためのサブコマンド、そのものな名前の cron がある〇〇/etc/crontab に仕込みをいれる。

```
# portsnap
0 3 * * * root /usr/sbin/portsnap cron
```

午前3時はこのコマンドをcronに仕込む際のお約束事項で、cronサブコマンドは実際に起動されてからランダムな時間待ち合わせてfetchを実行する。

portsインストール前に portsnap update を実行しすることで〇〇fetch結果が取り込まれ最新の状態になる。これで make を実行可能。

プロキシのためにうまくいかない場合は[portsnapコマンドをプロキシ経由で使う方法](#)で解決できるかもしれない。

subversionへの変更

subversionをインストールしていなければ先にそちらをインストール。

次に /usr/srcの中を(/usr/src自身を含まない)きれいさっぱり消す。消してないとエラー多発となるので。削除は初回のみ。

/usr/src を更新するために使うsubversionのサブコマンドは

- checkout - 指定のリポジトリからワーク(/usr/src)へチェックアウトする
- update - ワーク(/usr/src)をリポジトリの内容に同期させる

の二つ。

初回は以下のコマンドラインとなる。

```
$ rm -fR /usr/src/*
$ rm -fR /usr/src/.svn
$ svn checkout https://svn0.us-west.FreeBSD.org/base/releeng/9.1 /usr/src
```

2回目以降は、

```
$ svn update /usr/src
```

でお〇〇上記は、

- httpsを使いミラーサイト svn0.us-west.FreeBSD.org へ アクセスする。

- リポジトリは/usr/srcなら base を指定
- ブランチは RELENG
- バージョンは 9.1
- /usr/srcにソースをチェックアウト(checkout) or リポジトリに同期(update)

を意味している[]base/ の下に来るのはブランチとなる。 <http://svnweb.freebsd.org/> を見るなどして確認してみると良い。

- stable
安定版ではないので場合によっては痛い目を見る。
- release
そのままリリース版。安定しているはず。
- releng
releaseにセキュリティ等の修正が当てられたもの。

の違いがある。

/usr/src/.svnを消すと初回のコマンドからやり直しになるので注意[]。svnフォルダはsubversionのメタデータ管理フォルダとなる[]。subversion 1.7だとルートフォルダにのみ.svnが作られるが、それより古いバージョンだとルート以下の各フォルダに.svnフォルダが作られる。ちょっと目に付くかもしれない。差分ではなく丸ごと一式をごっそり持ってきたいなら.svnも消す。

リポジトリミラーサイトについては[]FreeBSDハンドブックの[Subversion ミラーサイト](#)に2箇所ミラーサイトの記述があるので、どちらかを選ぶ。他に信頼できるサイトがあるならそこにすれば良い。

httpのかわりにhttpsを使うと、公開鍵の扱いについてたずねられるので、適宜選択する。

2013/02/21追記

httpでの接続ができなくなっているかもしれない。特に問題なければhttpsで接続する。

[技術資料](#), [ports](#), [subversion](#), [FreeBSD](#)

From:

<https://wiki.hgotoh.jp/> - 努力したWiki

Permanent link:

<https://wiki.hgotoh.jp/documents/freebsd/freebsd-015>

Last update: **2024/11/01 16:25**

